



北葛だより みっちゃんの宅急便 今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団
奈良市登大路町30奈良県議院内 TEL0742(27)5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 TEL0745(23)6323

<http://www.mituko-imai.jp>

奈良県議会議員今井光子

検索

景気の悪い今こそ、暮らし応援、福祉、しごと充実の予算に

皆様の声が予算に実りました

今年の奈良県予算は、紀伊半島大水害からの復旧・復興に多くの事業とお金をかけるものとなっています。県防災計画の見直しや県南部の農産物や観光など地域経済をささえる応援策もいくつか実現しました。

しかし同時に、市内の渋滞につながる京奈和自動車道大和北道路(郡山IC~大安寺IC)建設促進、大企業誘致、高級ホテル誘致への支援、県民の理解が得られない東アジア連携事業、不急の近鉄奈良駅広場大屋根建設に巨額の税金をつぎこみながら、今年、引き上げられる介護保険料、後期高齢者医療保険料などの値上げ抑制のために市町村を支援することには熱心ではありません。

そんななかでも、私たちの要求が予算のなかに実現したものがあります。紹介します。

●県産材の利用促進前進

県土の77%は森林。奈良県を活性化するには林業と県産材の活用が不可欠だと求めてきました。

- 県庁に「奈良の木ブランド課」を新設。職員8名を配置
- 今年度建て替える中央児童こども家庭センターに県産材が使用されるなど公共建築物への県産材の活用事業を開始
- 県産材木造住宅普及促進事業(2200万円)
- 吉野材を活用した空間デザインの検討(早稲田大学連携事業)
- 木質バイオマス活用モデル事業

●若者の雇用確保

若者の就職難で大学生に対する県の説明会の開催や対策を要望してきました。大学生対象の新たな取り組みが行われます。

- 若者県内雇用促進事業(6721万円)
- 奈良で働くフェア事業(180万円)

●自殺者対策緊急強化事業(7917万円)

全国で、年間3万人の方が14年間連続で自殺されていますが、その実態もつかんでいません。救命救急センターでの自殺未遂実態調査実施、市町村担当者などの研修、など1歩前進です。

●再生可能エネルギー活用事業の取り組み

原発に依存しない、自然エネルギーなど再生可能エネルギー

の導入や検討事業がはじまります。

- ため池や小河川、浄水場などを活用した小水力発電の研究
- 家庭用太陽光発電の導入を支援
- 木質バイオマスを活用した発電の検討(再掲)

●女性医師ネットワーク事業

奈良県の医師の3分の1は女性です。子育てや家庭との両立ができて能力を生かすことができるよう、新規事業として女性医師が働きやすい職場づくりへの第一歩です。

- 看護師確保対策として、院内保育所の設置、一時休施設設置など看護師さんが働きやすい職場づくりの推進事業

●生活保護世帯の子どもの自立支援

貧困が拡大する中。親が生活保護を受けていると子どもがまた生活保護受給者というケースが少なくありません。奈良県で中学生に学習生活支援をするモデル事業がはじまります。

●大和川流域治水地対策検討事業

大和川上流の開発で雨で水が増水し、佐味田川などに張っても大和川がいっぱいで調整弁が機能せず内水氾濫が置いています。国土交通省に対して大和川の河川敷内の貯留施設の整備を求めてきました。

(次面に続く)



各地の孤独死・孤立死のニュースが報道されています。

奈良県で、そういうことのないよう、たとえば郵便物が貯まっていたり、電気・水道代などの支払い、家賃の支払い止まったたりしたような事例があれば事業者に通報をさせるなどして、県がしっかり体制を確立し、「見守り」活動をするよう、県担当課に緊急の要望をしました。

▼瓦礫の処理が話題になっています。阪神大震災で出た瓦礫が2000万ト、東日本大震災が2300万ト、大きく違うわけはありません。それぞれの地域の面積から見ると、「瓦礫があるから復興できない」ということはないのではありませんか▼浸水して住めない地域に、瓦礫や土砂などを固めていて何年もかかって処理していきたくないと現地の希望もあります。陸前高田の羽根市長さんが地元ブランドを作ってくれたら雇用も生まれると県や国に相談しましたが、まったく相手にされなかったそうです▼残存放射線の国基準は「1ト当たり8000ベクレル以下なら大丈夫」と言うものですが国際基準の80倍で安全といわれても、みんなが心配するのは当然です▼放射能を含んだ汚染物質は固めて封じ込めるのが最適な対策。たとえられるのは世界の常識。拡散させることは危険です。一番先に手を上げた東京都では東電が9割以上出資している東京ハイパワーが処理するそうです▼日本人は「冷たくなった」などと議論の前に、「瓦礫利権」を許してはなりません。

5/21/10

(前の面からの続き)

●**小さな命の”もしも”事業**(470万円)
望まぬ妊娠と堕胎のを取り上げてきました。

●**農林水産物安全安心確保事業** 放射性物質検査を行うよう求めてきました。県内産農作物の放射性物質検査、学校給食食材の放射性物質含有検査のモデル事業が取り組まれます。



議会改革が前進

議員が議案に賛成したのか反対したのかは県民に説明される必要がありますが、これまで奈良県議会では、把握もされず、「全会一致」や「賛成多数」としか明らかにされていませんでした。日本共産党は一貫して、各議員の態度の公表を求めてきました。

この2月議会から、各議員の議案への態度が奈良県議会ホームページで公表されています。一歩、前進です。

議員が会議に参加した時の交通費などの費用弁償額が、「交通費実費支給」に限りなく近いものに改定されます。

議員が会議に出席すれば、県議会から2ヵ月以内に自宅がある議員は2000円/1回の支給。過去には、奈良市内の議員でも1万円の「費用弁償」がでていた時期もありました。日本共産党県議団は、以前から「費用弁償の廃止」を要求、廃止できない場合でも「実費支給」にと改善を求めてきました。

子ども医療費助成拡充、一般住宅リフォーム助成の継続を 新年度予算組替を提案



予算修正提案をする今井光子議員
(3月23日、本会議)



2月定例会県議会最終日、日本共産党奈良県議会議員団は、○子どもの医療費助成制度を「小学校卒業まで」(現行は義務教育就業まで)が対象に拡充する(13億円)、○後期高齢者医療保険料の値上げを、ひとり当たり年間2000円抑える(3億2千万円)、○実施して31倍の経済効果があった一般住宅リフォーム助成制度の復活(1億円)を実施するために、無駄遣いや不要不急の事業を見直して17億2千万円の予算をねん出した予算組み替え提案をしました。わたしたち以外の賛同はあられませんでした。提案の趣旨がよくわかるものと評価されています。

裁縫雛形の展示会にぜひお越しください 私の祖母の42点も展示されています

大和郡山市にある奈良県民族博物館で5月6日まで、裁縫雛形の展示会が行われています。

その中には、祖母が女学校時代に作ったものを、静岡県でふとん店を営んでいた母が大切にしておいたものを、母がなくなってから私が奈良県に奇贈させていただいたもの42点も、今回展示されています。

昔の女学生が習った裁縫の、お手本となる「裁縫雛形」で、どれもほんとうにかわいいものばかり。

ぜひ、ご観覧ください。

副知事3人体制に反対です

副知事3人体制が提案されました。奈良県のような小さな県で副知事3人はいらないと、条例に反対しました。全国で副知事を3人設置しているのは4県だけです。

災害復旧のためと説明されていますが、すでに復興推進本部も本庁のなかに設置されていますし、南部振興監などの部署もつくられています。被災現場に土木技術者が配置されることの方が急がれます。副知事1人増やせば、年間1500万円もの予算が必要となるのです。



軍事費や、無駄遣いを削って、県民の暮らし、福祉、教育の充実をめざす2011年度の自治体キャラバンが県庁に「統一要求書」を提出しました。わたしたち日本共産党県議団はそらって、県庁前で、一行を激励しました。今回の要求には、原発にたよる電力から再生可能エネルギーに転換を！や台風災害復興支援が新たに加わりました。

願いのあるところ どこへでも

今井光子のフォトレポート

今井光子県議の活動を写真でレポートします。議会報告活動、災害を受けたところの視察、政府や県当局への要望活動など全県的にまわり回っています。



土砂タムによる二次災害をさけて仮設住宅で生活している野田川村の住民と懇談しました。20人以上の方が参加されました。



福井県の若狭にある高速増速機・もんじゅを視察しました。福井の原発は今全部停止中ですが、再稼働が画策されています。



県は10月10日を「奈良県がんと向き合う日」と定めて、がん検診の受診率向上のキャンペーンなどをおこなっています。

私も昨年秋のキャンペーンに参加、商店街でティッシュを配布しました。

今井議員の政策や論議、議会質問のご意見、要望をお寄せください